シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2026.1.30

日本人学校としての修学旅行の学びをいかに創るか

シラチャ日本人学校　校長　藤枝茂雄

2026年1月14日から16日にかけて、本校の中学部では、8年生を対象に、タイ北部のチェンマイからラムパーン方面に向けての修学旅行を実施した。修学旅行は、その学校の教育課程の重点や、実施学年の創意工夫、さらには教師の児童生徒の教育にかける思いや願いがよく反映された、注目すべき教育活動である。

本校の中学部の場合は、探究的な学びの題材としての「タイを多面的多角的に理解する」という東南アジアの地域的な特殊性に関するものと、「環境教育」というグローバルで普遍的なものを両立させたテーマを、修学旅行の目標や内容の軸にすえている。そして、2泊3日という限られた時間の中で、参加した生徒たちが、広さと深さのある学びを得ることができるように、常に創意工夫と改善を図っている。

以下、今年度の修学旅行について、行程順に紹介する。

第1日（1月14日）の昼にチェンマイ空港に着くと、生徒たちは、まず山岳民族のモン族が実際に居住しているドイ・プイ村に直行した。ドイ・プイ村は、山岳民族の居住地だけあって、標高も約 1,600mの高いところにある。一行は、途中で大型バスから小型の8人乗りの荷台式バン（ソンテオ）に乗り換えて、約8㎞の山道をぐねぐねと進んでいく。

ドイ・プイ村での学びを充実させるために、中学部では 2023 年度の修学旅行から、モン族の民族衣装を実際に着る体験を取り入れた。その際に、伝統的な山岳民族の自給自足経済の生活が、都市に住む市場経済の人々の生活と接点をもったことでどのように変化したかに関するインタビューも行うようにした。

2024 年度のドイ・プイ村訪問では、「針と刺繍の民」とよばれるモン族のアップリケの技法を知った。それをもとに、2025 年度の修学旅行では、あらかじめ生徒たちが学校で制作したリバースアップリケの作品をドイ・プイ村に持参し、モン族の女性から助言を受けるという学習に発展させた。

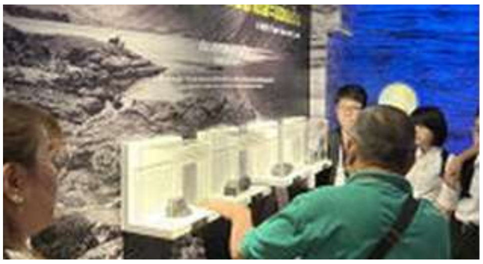
今回（2025 年度）の修学旅行では、モン族の民族衣装の模様が刺繍だけでなく「ろうけつ染め」との組み合わせによって作り出されているということを学んだ。それをもとに、次年度に向けての新たな取組が期待されるところである。

第2日の日程は、なかなかハードなものだった。チェンマイからラムパーンに向かう途中にある「国立ラムパーン象保護センター」を見学した後、第二次世界大戦時の連合国の戦闘機による機銃弾痕が生々しく残るブラックブリッジ（現地名は、サパーンダム）を訪問した。

このブラックブリッジは、1900年代のはじめにドイツの技師によって建設され、第二次世界大戦時には日本軍がタイ人の協力を得て軍事的に利用した歴史をもつ橋であり、それだけに、地域の人々の思いが込められ、ずっと親しまれてきた場所である。そのため、この橋が老朽化により取り壊される計画が明らかになったときには、ラムパーンの人々が住民運動を起こした。それをタイ国鉄が受け入れて橋を補修して存続し、新設の鉄道公園とともに周辺を再開発することに方針を転換したものである。

この場所の訪問に際しては、現地ガイドも情報をもっていないということだったので、元中学校社会科の教師だった私が「シラチャ・ペディア」を作成する際に調べたことなどをもとに、ゲストティーチャーとして事前講義を実施した。

　鉄道公園には、戦後賠償として日本からタイに送られた蒸気機関車も極めて良好な状態で展示してあり、生徒たちは大いに楽しんでいる様子だった。



　昼食後は、環境教育の一環として、タイ最大の露天掘り炭田である「メーモ炭田」に向かった。そして、炭田の敷地内に建てられているメーモ・リグナイト博物館の見学のあと、展望台で記念撮影をした。

　メーモ炭田では、日本では見られない大規模な露天掘りが行われており、石炭火力発電所も併設されているが、日本の高度経済成長期と同様に、公害問題も避けて通れなかった経緯がある。その部分に関しては、博物館内には展示資料がないので、生徒の自主的な探究学習のテーマとしてお預けとなった。

　メーモ炭田を見学した後、ラムパーン市内に戻って、タナバディ陶器博物館 兼 陶器工房に向かった。ここでは、地元の特産品となっているカオリン陶土を原料とした陶器製コースターの絵付け体験を行った。館内には25名の生徒がちょうど入れる作業室があり、生徒たちは 40 分で絵付けを終わらせ、17時までの残り時間を使って当館従業員によるガイド付き博物館の見学と買い物をしている間に、なんとか電気窯での焼成を済ませてもらうことができた。

　最終日は、地元の仏教関係者や地域委員、そして銀細工職人コミュニティの人々が総力を結集して建設した「タイの銀閣寺」とも称されるワット・シー・スパンの見学から始まった。全体が銀色に覆われたこのお寺を建設した目的は、「仏教的なお供え」、「国王ラーマ9世への尊敬の念の表明」、「この場所にラーンナー文化の粋を集めた芸術作品を残すこと」の 3 点ということである。

ワット・シー・スパンの見学の後は、チェンマイで最高の格式を誇る寺院のワット・プラ・シンへと移動し、有名な本堂の壁画などの説明を受けた。

その後、チェンマイ城壁内の旧市街の中心地を散策し、さらに東の主要門であるターペー門まで徒歩で移動して、バスに乗り、チェンマイ空港に向かった。

これだけの盛りだくさんの活動を実施したにもかかわらず、シラチャ校に到着したのが15時30分だったから、時間的にも合理的で密度の濃い修学旅行になった。

在外教育施設（日本人学校など）によって実施される修学旅行は、日本国内の学校のものよりも難しい面がたくさんある。新しく赴任した教師は、現地の事情にはそれほど詳しくないため、地域の題材を教材化するまでに時間がかかる。現地のツーリストガイドも、生徒たちの学習内容までは把握していないため、事前学習などの内容とうまく関連付けた案内や説明を求めることは困難である。そのため、先任の教員がいかに現地の情報を集め、教材化していくかということが、教育旅行としての質を大きく左右するのである。

そうした意味では、本校の修学旅行は、小学部、中学部ともに、内容を精査すればするほど、相当に質の高い学習活動を提供しているという評価に近づくと思われる。しかも、学級規模が理想的な状況であることが追い風となり、これだけの多種多様な見学や体験活動を、参加者全員が経験できるということも素晴らしいことである。

これらの修学旅行の学びの成果は、次年度のシラチャ祭の発表内容や、修学旅行の学習活動における新しいアイデアとなって実を結ぶものと期待している。

繋がる心、広がる世界

中学部長　青木奈緒美

１２月９日（火）、スローガン「new friends　new world ～繋がる心　広がる世界～」のもと第１４回交流学習会が行われました。事前学習では、バディと仲良くなれるようにPadletを活用して両校が自己紹介動画を投稿しました。自分の名前をタイ語で書けるようになったタイ語の授業。竹馬に乗れるように昼休みに練習した生徒。中学部全員で練習した合唱。閉会式の挨拶で本校の実行委員が話したように、両校とも一人一人が自分にできる最善の準備をして臨んだ様子が伺えました。当日、タイ語と英語を駆使して、一生懸命自分の思いを告げようとする姿は、相手の表情を笑顔に変えました。スッカボット校では、貴重なタイの文化の数々を体験することができました。特に、昼食後に披露されたユネスコの無形文化財であるコーンの仮面劇は圧巻でした。本校からのプレゼントは、家庭科で作成した風呂敷の中に紙粘土の和菓子（美術の時間に作成）を包んだものでした。相手校の先生の「キンメダイ（食べられません）」の言葉に場が和みました。生徒は、これからも人を思いやる気持ちを大切に、コミュニケーションをとって心を繋げていくでしょう。そして、日本の文化に誇りをもち、タイの文化をはじめ異国の文化を尊重する態度を大切に、自分の世界を広げて生きていくでしょう。

ロッテ工場　働く人の工夫

小３年主任　佐々木雅彦

１月２０日（火）校外学習として、ロッテ工場に行ってきました。社会科の学習として、「はたらく人が気を付けていること」を中心に、食品がどのように作られているか、事前学習をしました。その中で、子供たちは次のような疑問をもちました。

１ 原料はどこの国から、取り寄せているか。
２ 衛生を保つために、工場内の清掃はどのように行っているか。
３ 工場のラインで働く人の役割は何か。
４ 一袋に入っているコアラのマーチの数は全部同じか。
５ 地球環境を守るために工夫していることはあるか。

子供たちは、わくわくしながら工場見学をしましたが、見学の結果、子供たちは、予想以上の学びを得ることができました。

１ 原料は、世界中の国々から原材料を輸入していること。
２ 予想以上の回数で清掃をしているということ。
３ 機械を操作する人以外に、人の手で作業する場面がたくさんあること。
４ 量が均等になるような工夫がされていること。
５ 太陽電池による省エネ、フードロスを減らす努力をしていること。

普段、見ることのできない食品工場の内部を見学させていただけたのは、工場関係者の皆様方のおかげです。何気なく食べている食品でも、多くの工夫や労力を費やしながら、私たちの所へ届けられていることなど、とても大切なことを学べたと思います。

子供たちにとって、たいへん有意義な校外活動となりました。

今年度着任された先生方の文章を
順番に紹介していきます。

外国の理解は、言葉から

NET　Timothy Breding Pennington

　去年４月より英語教師として勤務しております、Timothy Breding Penningtonと申します。Timと呼ばれております。2020年よりTJASのバンコク校で５・６年生を教えていましたが、結婚したのでチョンブリに引っ越しして転勤しました。現在は、シラチャから少し離れているチョンブリ市に住んでいますので、通勤は少し時間がかかりますが、最近体が早起きに慣れてきました。

　出身地はアメリカのシカゴです。2年間、ウィスコンシン州大学で日本語も教えましたが、その後20年以上翻訳・通訳者として勤めました。15年間ほとんど日本に滞在して、2011年日本からバンコクに引っ越しました。6年前にもう少し有意義な仕事したいと思い、英語教師に転職してTJASバンコク校で教え始めました。

　15年ほどタイで生活したために、日本語で話す機会がなかなかなく、私の日本語がかなりぎこちなくなりましたが、まだ読み書きは普通にできます。比較的真面目にバンコクのタイ語学校で数年間勉強してきましたので、タイ語の方が楽に話すことができます（タイ語で、ブラインドタッチで打てることがちょっと自慢ポイントです）。

　趣味は外国語の勉強です。10か国語をいろいろな学校で勉強してきましたので、英語、タイ語の勉強・習得などを学習している人の立場がよく分かります。日本人が英語を勉強するのと同様に、私も14才でアメリカの高校で日本語を勉強しました。

　人生で急にキャリアを変更することは、かなり大変なので、まだ模索しながら少しずつ進行できるように頑張っております。保護者の皆様、お会いできる機会があればぜひご挨拶をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

2月の行事予定

日　曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日（日）		
2日（月）	・全校5時間授業	14:20 P1-6 M1-3 ★
3日（火）	・校外学習（4年） ・放課後指導（1年）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
4日（水）	・校外学習（4年） ・購買（配付日）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
5日（木）	・校外学習（4年）　・購買（提出日） ・放課後指導（2年）	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
6日（金）		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
7日（土）		
8日（日）		
9日（月）	・放課後指導（3年）	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
10日（火）	・放課後指導（1年）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
11日（水）	・第4回定期考査（7,8年）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
12日（木）	・アクティブタイム（中学部） ・放課後指導（2年）	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
13日（金）	・委員会活動（小）　・学級だより配信（小）	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
14日（土）		
15日（日）		
16日（月）	・クラブ活動（小） ・放課後指導（3年）	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
17日（火）	・購買（配付日）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
18日（水）	・購買（提出日）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
19日（木）	・第3回授業参観	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
20日（金）	・6年生を送る会 ・縦割り班活動（小）	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
21日（土）		
22日（日）		
23日（月）		14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
24日（火）	・委員会活動（中）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
25日（水）	・進学ガイダンス（6年対象,中学部主催）	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
26日（木）		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
27日（金）	・6年生を送る会　・水泳学習終了 ・学校,学年だより配信　・学級だより配信（小,中）	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
28日（土）		

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

第４回定期考査

２月11日（水）は、７、８年生を対象に、今年度最後の定期考査が行われます。新しい学年になる前に、今年度学習した内容を復習できるよい機会ですね。

第３回授業参観

19日（木）は、今年度最後の授業参観です。小学部では、総合学習の成果を保護者に見ていただこうと計画している学年もあります。中学部では、4校時に３学年がホールに集い、英語の時間に各クラスで実施する予選を勝ち抜いた代表生徒による、英語プレゼンテーション大会（TED x Sriracha）を開催します。この１年間のお子様の成長ぶりを是非ご覧ください。

６年生を送る会

20日（金）は、小学部でこれまでお世話になった６年生にむけて、送る会を開催します。６年生はもちろんのこと、みんなにとって思い出に残る素敵な会になるとよいですね。

早期一時帰国者・退学者の通知表の作成

最終登校日	一時帰国	退　学
2月10日（火） 以前	○通知表を作成します。 ○出欠の記録、所見、特活の記録等を記入します。 ○評価評定はしません。 ○3月12日(木)以降に、児童生徒または保護者にお渡しをします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。	○通知表は作成しません。 ○口頭で学習状況等をお伝えします。
2月11日（水） 以降	○通知表を作成します。 ○上記の内容に追加し、評価できる項目を記入します。	
	○3月12日(木)以降に、児童生徒または保護者にお渡しをします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。	○3月12日(木)以降に郵送します。帰国後の住所と電話番号をお伝えください。 ※郵送方法については、担任とご相談ください。

各種証明書発行

例年、年度末に申し込みが殺到します。また、発行に要する期間は通常で原則１週間(休業日を含まない）ですが、春休みになると数週間お待ちいただくこともあります。申し込みを希望される方は、２月中に<u>本校HPよりダウンロードを行い、必要事項を記入し、担任へ提出</u>されるようお願い申し上げます。

【主な証明書】
□在学証明書　□成績証明書　□卒業見込み証明書
□卒業証明書　□入学証明書　□修了証明書

今年度末離任教員

今年度末をもちまして８名の教員が離任することになりましたので、お知らせいたします

教務主任	播村　有香	中学部長	青木奈緒美
１年３組担任	髙山　夕希	９年１組担任	中野　遥奈
３学年副担任	山尾　理恵	８年１組副担任	望月　みあ
４年学年主任	小島　周平		
５年３組担任	茂木　香枝		